



緑色マルチを使って

ワイン用ぶどうの初期収量を増やそう

生産性低下園地・新規ワイナリーの増加
改植・新植→早期生産技術の開発が必要

ぶどうは生育に必要な温度が高い

ぶどうは根が浅く
雑草に負け易い

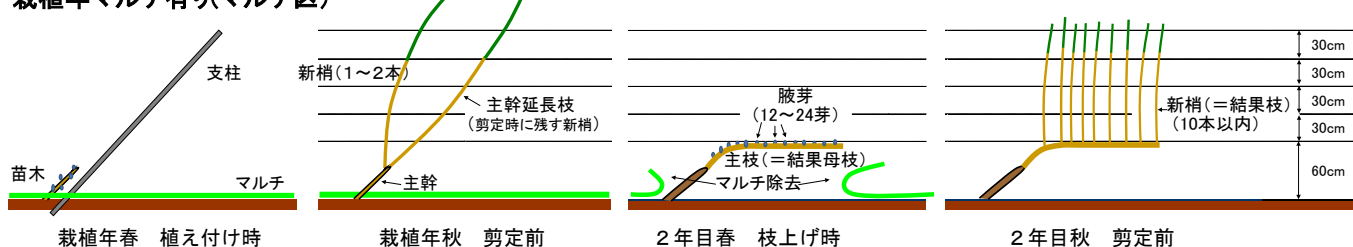


栽植年にポリエチレン緑色マルチフィルムを被覆することで雑草抑制と地温上昇を図る。

○栽植年の新梢生育が旺盛となり、2年目以降の樹体生育も優る。

○2年目の収量は大きく上回り、3年目の収量も同等以上。栽植3年目までの合計収量はほぼ2倍。

栽植年マルチ有り(マルチ区)



マルチなし(標準区)

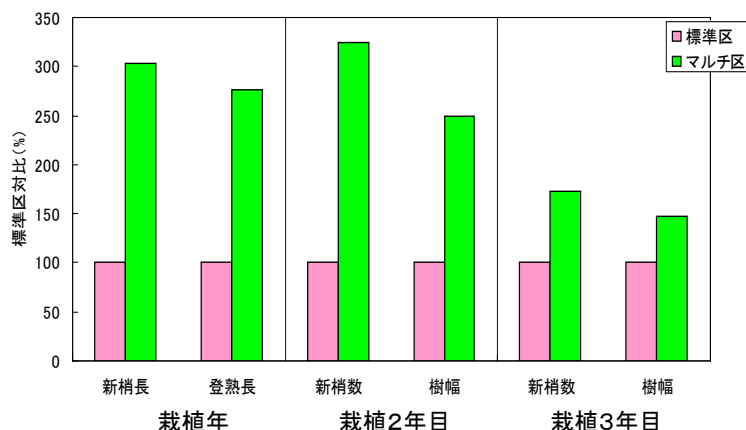
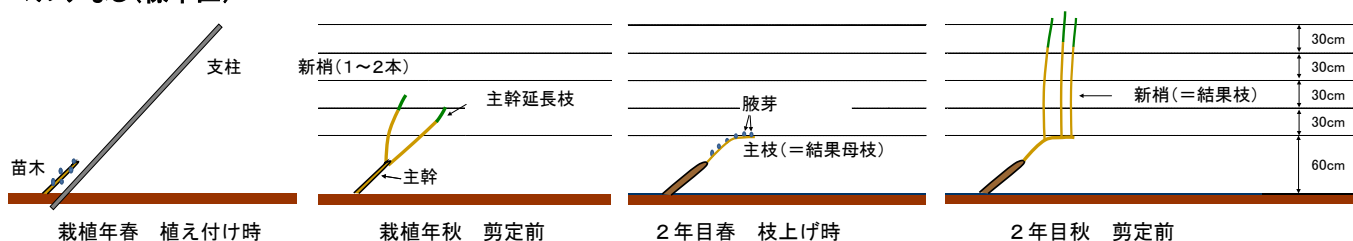


図1 マルチ区樹体生育の標準区対比

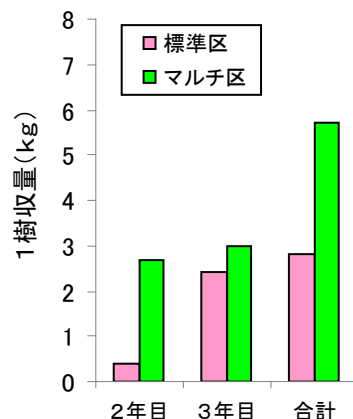


図2 果実収量